

しものせき議会だより

Shimonoseki City
Assembly

関門海峡にのぼる月(日本百名月)

学校給食

みらい下関 田中 義一

公共施設運営の あり方

日本共産党 片山 房一

持続可能な まちづくり

無所属 関谷 博

総合評価落札方式の 評価と評価項目

創世下関 江村 卓三

自転車の安全で 適正な利用の促進

自民下関 板谷 正

小中学校の 施設整備

創世下関 吉田 真次

未就学児と小中学校の マスク着用

みらい下関 東城しのぶ

高齢者の スマホサポート

公明党 恵良健一郎

私はここに注目しています



▲こちらもご覧ください
議会中継のQRコード

市の施策等に対する議員からの質問と市からの答弁の主な内容を掲載しています。執筆は議員自らがを行い、議会広報部会で編集しています。

学校給食

みらい下関 田中 義一



新共同調理場(イメージ図)

問 新下関市場内に建設予定の新共同調理場の整備スケジュールは。
答 令和4年5月に基本設計が完了しており、今後は建築審査会や実施設計を経て、令和4年9月頃から建設工事に着手していく。令和5年末の施設完成後、開業に向けた準備を開始し、令和6年4月からの施設稼働を予定している。

問 下関産給食の実施に向けた取り組みの進捗状況は。
答 市内すべての小中学校で下関産給食の日を実施するため、J A 山口県や市場関係者、生産者の協力を得ながら、まずは1日分の下関産青果を確保できるよう調整を進めている。

問 物価高騰による給食費の保護者負担への対応は。
答 物資全般が影響を受けているため、令和4年度2学期から3学期までの間、給食食材費高騰分への対応と給食費の保護者の負担軽減を検討している。

公共施設運営のあり方

日本共産党 片山 房一



冬季は毎年凍結する仮設水道管

▼公民館使用料減免の見直し
問 令和5年4月から実施としていたが利用者への説明状況はどうか。
答 改めて減免基準の見直し以外の方策を検討し始めた。そのため登録団体への説明はしていない。

▼修繕料などの予算の確保
問 施設の不具合、修繕などが「予算がない」との理由で改善されないものが多い。豊浦勤労青少年ホームでは、仮設水道管が凍結し、トイレが使えない状態が毎年発生し、漏電が指摘されても抜本的な対策が取られていない。他の施設でも同様な事例がある。なぜ、予算を確保し、緊急に必要な修繕などを行わないのか。
答 改修などを計画的に進めるためには、改修内容と時期、経費などを盛り込んだ個別施設計画の策定が不可欠であり、それに取り組む。その一方で、修繕などについては必要に応じて改善に努めていく。
 ※補聴器購入助成制度なども質問

持続可能なまちづくり

無所属 関谷 博



居住/都市機能誘導区域の範囲

問 立地適正化計画において「居住誘導区域」「都市機能誘導区域」を行政がどのように誘導するのか。
答 少子高齢化の中で、安心できる健康で快適な生活環境の実現のため、「医療・福祉・商業施設」の集積や「人口密度」を維持することにより、持続的な都市経営を推進していく。

問 地域公共交通再編実施計画において、地域の生活や経済活動を支える必要不可欠な地域公共交通の確保や、コロナ禍での維持を図るための取り組みは。
答 学生や高齢者など住民が公共交通機関により生活利便施設にアクセスできるバス路線の再編や、交通事業者への事業継続支援金などで対応。

問 農業振興地域の定義について。
答 農用地等として利用すべき相当規模の土地があり、農業上の土地利用の高度化を図ることが相当であると認められる地域。
 ※家庭教育支援条例の制定も質問

総合評価落札方式の評価と評価項目

創世下関 江村 卓三



総合評価落札方式の工事現場

問 従来の価格競争型の入札では、低価格入札により工事の安全性や成果品質に悪影響を及ぼしたことから、価格と価格以外の技術的な要素を総合的に判断する方式を取り入れたが、その評価は。
答 現在は4000万円以上の工事について実施しているが、評価としては、価格競争より総合的に良好な品質管理ができている。

問 今後、対象金額の見直しは。
答 年間30件程度と案件が少ないので、今後の複数年の運用状況も考慮し、しっかりと検証していく。

問 優良工事表彰の有無とは。
答 工事成績が優秀な事業者や市に貢献した事業者に対してインセンティブとして評価している。

問 過去3年間の新規雇用とは。
答 市内居住者を継続的に雇用する地域業者を評価することを目的として評価している。

自転車の安全で適正な利用の促進

自民下関 板谷 正



周南市で施行された自転車条例

※通学路安全対策なども質問

問 「自転車の安全で適正な利用促進に関する条例」については現在、全国121の自治体で条例が施行されている。自転車事故での死亡者の約6割が頭部損傷によるもので、ヘルメットの着用促進は重要な取り組みである。また近年、自転車利用者が加害者となる事故において、高額な賠償命令が出ていることや、加害者に未成年者や高齢者が多いことも踏まえ、国土交通省も地方公共団体に対し、条例等による損害賠償責任保険等への加入促進を要請している。これまでも本条例の制定については強くお願いしてきたが考えはどうか。

答 自転車の安全利用に関しては大切なものと認識している。条例の策定については、変更を検討している「サイクルタウン下関構想」との関係性を踏まえ、前向きに検討していきたい。

小中学校の施設整備

創世下関 吉田 真次



市内で唯一、外廊下の菊川中学校

答 もう少し議論が必要と考える。

問 菊川中学校以外に外廊下の学校はあるか。

答 普通教室棟が外廊下なのは菊川中学校のみ。

問 外廊下なので、雨や風によって、草木や砂、水が入ってくる。また、コウモリやハトが巣を作り、糞による子供たちへの健康被害も懸念されている。雨で濡れた廊下を子供たちは掃除しているが、これらは菊川中学校のみにかかる労力であり、生徒や教員に負担を強いている。こうした現状をどう考えているか。

答 廊下を磨くことで心を磨く指導もしてきた。また、令和3年度には滑りにくい床に改修する工事も行っている。少しでも生徒と教職員の負担軽減に繋がるよう学校の要望を聞きながら改修を行っていきたい。

問 明るさを確保しつつ雨や風、鳥の被害などの影響を受けないような措置を講じていくべきでは。

未就学児と小中学校のマスク着用

みらい下関 東城しのぶ



マスクを着用して登校する子供

※海峡エリアビジョンも質問

問 3年間にわたるマスク着用で子供たちの健康面・精神面などに影響はないのか。

答 現時点において科学的な根拠は示されていないが一部の専門家から表情が見えないことへの影響が懸念されている。

問 マスク着用の現状と課題は。

答 未就学児においては引き続き厚生労働省の通知に従い、小中学校においては熱中症予防を最優先に登下校、体育授業、昼休みは原則マスクを外すように指導。ただし、3年間のマスク着用が習慣化しており、外すことへの不安や抵抗感があることが課題。

問 マスクの方針を子供たち、保護者、教員にどう指導していくのか。

答 国の通知を基に、保護者や地域の理解を求めながら、各園や学校、園児や児童生徒に対し繰り返し指導、説明を行っていく必要がある。

高齢者のスマホサポート

公明党 恵良健一郎



スマホサポート教室(公民館)

※物価高への対応についても質問

問 高齢者へのスマホサポートの現状は。

答 公民館主催のスマホサポート教室においては、令和3年度は19施設で延べ38回494名の参加、令和4年度は22施設、延べ32回の講座を開催予定で計画中も含めまだ増える予定。それ以外では携帯電話会社による教室のほか、山の田地区ではまちづくり協議会が主体のスマホサポート教室が行われている。

問 スマホサポート教室はどのような団体や人が行っているのか。

答 公民館では携帯電話会社から講師を派遣してもらっている。現在、国や県においてサポート体制に対する支援策が講じられており、市もこれらを積極的に活用し、携帯電話会社や地域団体と連携して、サポート体制の輪が広がっていくようにバックアップしていきたい。

委員会報告

各常任委員会の主な審査内容などをご紹介いたします。

総務委員会

響灘を望む雄大な眺望や川棚温泉街の街並み、隈研吾氏が設計した建築物などを散策する癒やしの小旅行をテーマに交流人口の増加を目指す。豊浦地域「川棚温泉エリア」再生ビジョンについて報告を受けました。

委員会では、このビジョンが豊浦地域の活性化とにぎわい創出のための重要な指針となることから、このビジョンを基に今後展開していく各種事業の効果が一部のエリアだけではなく、豊浦地域全体に波及して相乗効果を生み出すよう、地域住民が納得するものをつくり上げてほしいとの要望がなされました。

豊浦地域の活性化とにぎわい創出

しものせき花で笑顔の応援事業

経済委員会

コロナ禍の影響を受けた花の消費喚起を図る取組として、生花店が製作したフラワーアレンジメントを公共施設や教育施設、公募で決定した市民などに配達する事業の経費が計上された予算議案を審議しました。内容は1万円程度のフラワーアレンジメントを9月から6か月間、毎月1回送るもので、委員から全市民に公募の案内が伝わるよう工夫を求めたほか、冠婚葬祭などが縮小・簡素化される中でも、花の生産農家をはじめ、関係する方々の支援にもなるため、今後も力を入れて取り組んでほしいとの要望がなされました。

文教厚生委員会

下関医療圏における公立・公的4病院(※)を対象に、国から「重点支援区域」に選定されたことから、市民病院について、今後の再編・統合を見据えた分析、資料作成などを行うための経費が計上された補正予算議案を審議しました。

委員会では、地域医療構想を進める上で、コロナ禍の経験を踏まえた感染症対策についても議論を深めていくべきとの意見がなされました。本市において、将来にわたり持続可能な医療提供体制が確保されるよう、地域医療構想の動向については、委員会として注視してまいります。

地域医療構想の実現に向けて

安岡地区複合施設整備事業の契約

建設消防委員会

当事業は、株式会社モア・ザン・グリーンと約31億円で事業契約を締結するもので、執行部から、施設整備に関する778項目にも及ぶ要求水準のチェックなどを行う基礎審査や、学識経験者などで構成された下関市PFI事業審査委員会で総合的に審査し、選定した契約締結するにふさわしい相手方であるとの説明がなされました。

当委員会では、市民の目線に立ち、利用者に寄り添った施設整備を求め、意見や、事業者と共に市民の期待に応えられる整備の実現を期待する発言がなされました。

監査委員の役割

現在の監査委員に相当する機関をはじめ規定したのは、明治32年の府県制及び明治44年の市町村制で、昭和21年には市当局と議会から独立した機関として、監査委員制度が設けられています。

監査には、市の各部署ごとに行う定期監査、決算の状況を審査する決算監査、毎月実施する例月現金出納検査などがあり、行政事務の適法性、妥当性を保障し、公正で合理的かつ効率的な行政を確保するとともに、政策課題への対応状況も確認しています。

なお、令和3年10月の指定管理者の監査では、使用許可の手続きに不適正な事項があり指摘したところ、指定管理者は新たに対応マニュアルを作成し、適正に改善されたことを確認いたしました。

市民の負託に応えるべく、引き続き適正かつ慎重に監査を行ってまいります。

本市の議員選出監査委員



香川昌則委員



小熊坂孝司委員

一般質問の内容や議員個人の賛否の結果については、下関市議会のホームページをご覧ください。(QRコードを使うとスムーズにアクセスできます)



議会中継



議決結果

第2回定例会では次の議員も一般質問しています。

- 濱岡 歳生(無所属)
- 星出 恒夫(みらい下関)
- 本池 涼子(無所属)
- 阪本 祐季(創世下関)
- 吉村 武志(創世下関)
- 林 昂史(みらい下関)
- 山下 隆夫(無所属)
- 西岡 広伸(日本共産党)
- 河野 淳一(公明党)
- 前東 直樹(公明党)
- 福田 幸博(創世下関)
- 村中 良多(自民下関)
- 坂本 晴美(公明党)
- 濱崎 伸浩(創世下関)
- 平田 陽道(公明党)
- 江原満寿男(日本共産党)
- 桧垣 徳雄(日本共産党)

注)議員と会派名：令和4年第2回定例会時点/会期：6月7日から6月23日まで

※公立・公的4病院：下関市立市民病院、関門医療センター、済生会下関総合病院、下関医療センター

【発行日】令和4年9月1日 【編集】議会広報部(村中良多、東城しのぶ、松垣徳雄、平田陽道、吉村武志) 【発行】下関市議会 〒750-8521 下関市南部町1-1 ☎083-231-4121 【印刷】瞬報社写真印刷株式会社 〒752-0927 下関市長府扇町9-50 ☎083-249-1100